

大学番号： 国017

[平成22年度設置]

計画の区分：大学院の設置

意見伺い

筑波技術大学大学院 技術科学研究科

【意見伺い】 設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人 筑波技術大学
平成23年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 総務課

職名・氏名 総務課長 柴 正彦

電話番号 029-858-9304
(夜間)

F A X 029-858-9312

e-mail soumukatyou@ad.tsukuba-tech.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は認可時の基本計画書の「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

認可時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には認可時の旧名称を記載いただき、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部
(□□学部)

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 学部の設置の場合：「〇〇大学 〇〇学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 〇〇学部 〇〇学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 〇〇学科」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 〇〇学部 〇〇学科（通信教育課程）」

「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

「意見伺い」の場合は、表題を修正してください。

3 大学番号の欄については、平成23年3月11日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書」の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目 次

1	調査対象大学等の概要等	1
2	授業科目の概要	6
3	施設・設備の整備状況, 経費	12
4	既設大学等の状況	13
5	教員組織の状況	14
6	留意事項に対する履行状況等	22
7	その他全般的事項	23

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 筑波技術大学

(2) 大学名

筑波技術大学大学院

(3) 大学の位置

(天久保キャンパス)

〒305-8520

茨城県つくば市天久保4丁目3番15号

(春日キャンパス)

〒305-8521

茨城県つくば市春日4丁目12番7号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	届出時	変更状況	備考
学長	(ムラカミ ヨシノリ) 村上 芳則 (平成21年4月就任)		
研究科長	(オノ ツカサ) 小野 東 (平成22年4月就任)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成20年度に報告済の内容 → (20)

平成23年度に報告する内容 → (23)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。
 ・ 様式は, 平成21年度開設の博士後期課程の場合(平成23年度までの3年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象研究科等の名称, 定員

調査対象研究科等の名称(学位)	設置時の計画			備考
	修業年限	入学定員	収容定員	
技術科学研究科 産業技術学専攻(修士課程) 修士(工学)、修士(デザイン学)	2年	4人	8人	基礎となる学部等 産業技術学部
保健科学専攻(修士課程) 修士(鍼灸学)、修士(理学療法学)、 修士(工学)	2	3	6	保健科学部

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

<技術科学研究科 産業技術学専攻(修士課程)>

区分	報告年度		平成23年度		平均入学定員 超過率	備考
	平成22年度	平成23年度	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	4 (-) [-]	4 (-) [-]	4 (-) [-]	4 (-) [-]	0.75 倍	
志願者数	3 (-) [-]	— (-) [-]	5 (-) [-]	— (-) [-]		
受験者数	3 (-) [-]	— (-) [-]	4 (-) [-]	— (-) [-]		
合格者数	3 (-) [-]	— (-) [-]	4 (-) [-]	— (-) [-]		
B 入学者数	3 (-) [-]	— (-) [-]	3 (-) [-]	— (-) [-]		
入学定員超過率 B/A	0.75		0.75			

<技術科学研究科 保健科学専攻（修士課程）>

区分	報告年度	平成22年度		平成23年度		平均入学定員 超過率	備 考
		春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員		人 3 (-) [-]	人 3 (-) [-]	人 3 (-) [-]	人 3 (-) [-]	1.16 倍	
志願者数		6 (4) [-]	— (-) [-]	5 (2) [-]	— (-) [-]		
受験者数		5 (4) [-]	— (-) [-]	5 (2) [-]	— (-) [-]		
合格者数		4 (3) [-]	— (-) [-]	4 (2) [-]	— (-) [-]		
B 入学者数		4 (3) [-]	— (-) [-]	3 (2) [-]	— (-) [-]		
入学定員超過率 B/A		1.33		1.00			

- (注) ・ () 内には、社会人の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 「社会人」については、認可申請書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 - ・ [] 内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。なお、計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位まで**記入してください。
 - ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、**計算の際は「入学定員超過率」と同様に**してください。
 - ・ 「平成23年度」には、平成23年5月1日現在の状況を記入してください。
 - ・ 「平成20～22年度」には、確定した数値を記入してください。

(5) - ③ 調査対象研究科等の在学者の状況

<技術科学研究科 産業技術学専攻（修士課程）>

学 年	報告年度 平成22年度		平成23年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[-] 3	[-] -	[-] 3	[-] -	
2年次	/		[-] 3	[-] -	
計			[-] 3	[-] 6	

<技術科学研究科 保健科学専攻（修士課程）>

学 年	報告年度 平成22年度		平成23年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[-] 4	[-] -	[-] 3	[-] -	
2年次	/		[-] 4	[-] -	
計			[-] 4	[-] 7	

- (注) ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ 「平成23年度」には、平成23年5月1日現在の状況を記入してください。
 - ・ 「平成20～22年度」には、確定した数値を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

<技術科学研究科 産業技術学専攻（修士課程）>

区分 対象年度	退学者数 (a)	在学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a/b)
平成22年度 (平成22年4月1日～ 平成23年3月31日)	計 [—] 0	(累積)計 [—] 6	0%
	うち平成22年度入学者 0人	うち平成22年度 3人	
	(主な退学理由)		

<技術科学研究科 保健科学専攻（修士課程）>

区分 対象年度	退学者数 (a)	在学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a/b)
平成22年度 (平成22年4月1日～ 平成23年3月31日)	計 [—] 0	(累積)計 [—] 7	0%
	うち平成22年度入学者 0人	うち平成22年度 4人	
	(主な退学理由)		

(注)・各年度の退学者数・在学者数については、該当年度間(例えば、平成22年度であれば、平成22年4月1日から平成23年3月末まで)の状況を記載してください。また、数字については確定した数値を記入してください。

- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度における退学者数】を、【当該対象年度の入学者数＋当該対象年度の前年度までの確定した在学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。なお、参考までに例示を添付しますので、そちらをご参照ください。
- ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に、その人数も含めて記入してください。
 - ・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 - ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<技術科学研究科 産業技術学専攻(修士課程)>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基盤科目	共通科目	産業技術学セミナー	1①	2			3	3				
		ヒューマンシステム工学特論	1①		2			7	5	1	1	
		情報コミュニケーション学特論	1① 未開講 +①		2			6	8 7		+	通常開講(23) H23.4.1 若月大助教の准教授昇格のため(23) 履修希望者がいなかったため(22)
		ユニバーサルデザイン特論	未開講 1①		2			5 4	5 6	1		履修希望者がいなかったため(23) H22.4.1 劉賢国准教授の教授昇格のため(22)
		聴覚障害福祉工学	1②		2					1		
専門科目	情報科学	ソフトウェアシステム構成論	1① 未開講 +①		2			1	1			通常開講(23) 履修希望者がいなかったため(22)
		コミュニケーション科学特論	1② 未開講 +②		2			1	1			通常開講(23) 履修希望者がいなかったため(22)
		通信情報システム特論	1① 未開講 +①		2			1	1			通常開講(23) 履修希望者がいなかったため(22)
		情報保障システム工学特論	1・2① 未開講 +・2①		2			2	5 4		+	通常開講(23) H23.4.1 若月大助教の准教授昇格のため(23) 履修希望者がいなかったため(22)
		3Dグラフィックス特論	1・2① 未開講 +・2①		2				1		+	通常開講(23) H23.4.1 若月大助教の准教授昇格のため(23) 履修希望者がいなかったため(22)
		マルチメディア応用論	1・2② 未開講 +・2②		2			1				通常開講(23) 履修希望者がいなかったため(22)
		コンピュータビジョン論	1・2① 未開講 +・2①		2			1				通常開講(23) 履修希望者がいなかったため(22)
		通信ネットワーク特論	1・2② 未開講 +・2②		2				1			通常開講(23) 履修希望者がいなかったため(22)
		ビジュアル・コンピューティング特論	1・2② 未開講 +・2②		2				1			通常開講(23) 履修希望者がいなかったため(22)
	システム工学	デジタル信号処理特論	1② 未開講 +②		2			1				通常開講(23) 履修希望者がいなかったため(22)
		アナログ集積回路特論	1① 未開講 +①		2				1			通常開講(23) 履修希望者がいなかったため(22)
		流体工学特論	1② 未開講 +②		2			1				通常開講(23) 履修希望者がいなかったため(22)
		熱工学特論	1①		2			1				
		情報駆動生産工学	1①		2				1			
		安全工学特論	1②		2			1				
		建築環境工学特論	未開講 +①		2			1				履修希望者がいなかったため(23)
		軽量構造特論	1②		2					1		
		線形・非線形材料構成材塑性設計特論	未開講 +①		2				1			履修希望者がいなかったため(22)
		信頼性設計特論	未開講 +・2②		2			1				履修希望者がいなかったため(23)
総合デザイン学	創造設計学特論	1・2①		2						1		
	障害者支援施設設計特論	未開講 +・2①		2			1				履修希望者がいなかったため(22)	
	高齢者地域共生環境特論	未開講 +②		2			1				履修希望者がいなかったため(22)	
	共生ユーザビリティ特論	未開講 +・2②		2			1				履修希望者がいなかったため(22)	
総合デザイン学	生産造形創造特論	未開講 +①		2				1			履修希望者がいなかったため(22)	
	感性情報デザイン特論	未開講 +・2①		2			1				履修希望者がいなかったため(23)	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	コース指定選択科目 総合デザイン学	共生コミュニケーション特論	未開講 1 ・2②	2		1	+				履修希望者がいなかったため (23) H22.4.1 劉賢国准教授の教授昇格のため (22)	
		色彩学特論	未開講 1 ②	2			1				履修希望者がいなかったため (23)	
		デザイン方法特論	未開講 1 ・2①	2					1		履修希望者がいなかったため (23)	
		デザイン・エルゴノミクス特論	未開講 1 ・2②	2		1	2				履修希望者がいなかったため (23)	
		造園計画特論	未開講 1 ・2①	2			1				履修希望者がいなかったため (22)	
	選択科目	ヒューマンインタフェース特論	1・2② 未開講 1 ・2②	2		1	1				通常開講 (23) 履修希望者がいなかったため (22)	
		コミュニケーション環境論	1・2① 未開講 1 ・2①	2			1				通常開講 (23) 履修希望者がいなかったため (22)	
		生体工学特論	1・2② 未開講 1 ・2②	2			1				通常開講 (23) 履修希望者がいなかったため (22)	
		CAD/CAM特論	未開講 1 ・2①	2		1					履修希望者がいなかったため (23)	
		光環境工学特論	未開講 1 ・2②	2			1				履修希望者がいなかったため (23)	
		デジタルモデリング特論	未開講 1 ・2①	2			1				履修希望者がいなかったため (23)	
		環境行動学特論	1・2②	2			1					
	産業技術学特別実習	1②	2			3						
	特別研究科目	情報科学	情報科学特別研究 1	1(通) 未開講 1(通)	4		5	5 4				通常開講 (23) 研究分野の充実のため、科目を追加 (23) [担当 若月大輔(助教) 平成23年2月 教員審査済 判定 合 (23) 履修希望者がいなかったため (22)]
			情報科学特別研究 2	未開講 2(通)	6		5	5 4				研究分野の充実のため、科目を追加 (23) [担当 若月大輔(助教) 平成23年2月 教員審査済 判定 合 (23) 配当年次対象学生がいないため (22)]
システム工学		システム工学特別研究 1	1(通)	4		7	3					
		システム工学特別研究 2	2(通) 未開講 2(通)	6		7	3				通常開講 (23) 配当年次対象学生がいないため (22)	
総合デザイン学		総合デザイン学特別研究 1	未開講 1(通)	4		5	3 4				履修希望者がいなかったため (23) H22.4.1 劉賢国准教授の教授昇格のため (22)	
		総合デザイン学特別研究 2	2(通) 未開講 2(通)	6		5	3 4				通常開講 (23) 配当年次対象学生がいないため (22)	

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成22年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記載する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記載してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても、「(1) 授業科目表」にはその状況を反映させてください。(ただし、「(3) 未開講科目」欄には記載する必要はありません)。

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
7	42	0	49	7	42	0	49	
				[-]	[-]	[-]	[-]	

- (注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[]内に、設置認可時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: △1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置認可時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。(ただし、未開講科目があった場合は、(1)「授業科目表」にその状況を反映させてください。)

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置認可時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{認可時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

<技術科学研究科 保健科学専攻(修士課程)>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基盤科目	共通科目	保健科学セミナー	1①	2			4	2				
		障害補償機器特論	1・2①		2			2				
		障害補償技術特論	1・2①		2			2				
		障害補償ソフトウェア工学特論	未開講 1→2①		2			1				履修希望者がいなかったため (23)
		視覚情報処理特論	未開講 1→2②		2					1		履修希望者がいなかったため (22)
医療系 コース 共通科目		解剖学特論 (機能解剖学)	1①		2		1					
		生理学特論 (運動生理学・自律神経生理学)	未開講 1①		2			1				履修希望者がいなかったため (23)
		衛生学特論 (微生物感染症学・消毒論)	1① 未開講 1①		2		1					通常開講 (23) 履修希望者がいなかったため (22)
		臨床医学特論 A (小児科学)	未開講 1①		2		1					履修希望者がいなかったため (23)
		臨床医学特論 B (神経内科学)	1①		2		1					
		臨床医学特論 C (整形外科学)	1①		2		1					
		臨床医学特論 D (放射線医学)	未開講 1②		2							履修希望者がいなかったため (22)
		臨床医学特論 E (内科学)	未開講 1①		2							履修希望者がいなかったため (22)
専門科目	鍼灸学 コース 指定 選択科目	手技療法学特論	未開講 1①		2		4			1		履修希望者がいなかったため (23)
		鍼灸学特論	未開講 1②		2		4			1		履修希望者がいなかったため (23)
		鍼灸手技療法研究技術論	1②		1		4					
		臨床鍼灸手技療法学特論 A (古典鍼灸手技学・文献学)	未開講 1①		1		2					履修希望者がいなかったため (23)
		臨床鍼灸手技療法学演習 A (古典鍼灸手技学・文献学)	未開講 1②		2		2					履修希望者がいなかったため (23)
		臨床鍼灸手技療法学特論 B (現代鍼灸手技療法学)	1①		1		3			1		
		臨床鍼灸手技療法学演習 B (現代鍼灸手技療法学)	1②		2		3			1		
		総合臨床鍼灸学・演習 1 A (古典医学的臨床)	未開講 1→2①		3		1					履修希望者がいなかったため (23)
		総合臨床鍼灸学・演習 1 B (スポーツ系疾患臨床)	未開講 1→2①		3		1					履修希望者がいなかったため (22)
		総合臨床鍼灸学・演習 1 C (老年系疾患臨床)	1・2① 未開講 1→2①		3		1					通常開講 (23) 履修希望者がいなかったため (22)
		総合臨床鍼灸学・演習 1 D (自律機能系疾患臨床)	未開講 1→2①		3		1					履修希望者がいなかったため (22)
		総合臨床鍼灸学・演習 1 E (疼痛系疾患臨床)	1・2①		3		1					
		総合臨床鍼灸学・演習 2 A (古典医学的臨床)	未開講 1→2②		3		1					履修希望者がいなかったため (23)
		総合臨床鍼灸学・演習 2 B (スポーツ系疾患臨床)	未開講 1→2②		3		1					履修希望者がいなかったため (22)
		総合臨床鍼灸学・演習 2 C (老年系疾患臨床)	1・2② 未開講 1→2②		3		1					通常開講 (23) 履修希望者がいなかったため (22)
		総合臨床鍼灸学・演習 2 D (自律機能系疾患臨床)	未開講 1→2②		3		1					履修希望者がいなかったため (22)
		総合臨床鍼灸学・演習 2 E (疼痛系疾患臨床)	1・2②		3		1					
		理学療法学		福祉用具・生活環境支援特論	未開講 1②		2					
物理療法学特論・演習	未開講 1②				3		1					履修希望者がいなかったため (23)
行動学的理学療法学特論	未開講 1①				2			1				履修希望者がいなかったため (22)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	理学療法学	専門理学療法評価学特論・演習	未開講 1①	3		1					履修希望者がいなかったため (23)	
		徒手理学療法学特論・演習	未開講 1②	3		1					履修希望者がいなかったため (23)	
		応用運動学特論	未開講 1①	2							履修希望者がいなかったため (23)	
		小児理学療法特論	未開講 1①	2							履修希望者がいなかったため (22)	
		スポーツリハビリテーション特論・演習	1②	3		2						
	コース指定選択科目	情報システム学	情報工学・感覚工学特論	1①	2		3	3		1		
			システム設計特論	未開講 1-2①	2		1					履修希望者がいなかったため (22)
			システム設計特論演習	未開講 1-2①	1		1					履修希望者がいなかったため (22)
			情報セキュリティ特論	1・2②	2			1				
			コンピュータネットワーク特論	1・2①	2			1				
			インターネット技術応用特論	1・2②	2			1				
			デジタル信号処理特論	未開講 1-2②	2		1					履修希望者がいなかったため (23)
			デジタル信号処理特論演習	未開講 1-2②	1		1					履修希望者がいなかったため (23)
			データベース特論	1・2①	2		1					
			情報検索システム特論	1・2② 未開講 1-2②	2		1					通常開講 (23) 履修希望者がいなかったため (22)
			情報構造論特論	未開講 1-2①	2		1					履修希望者がいなかったため (22)
			情報論理特論	未開講 1-2①	2		1					履修希望者がいなかったため (23)
			知能システム特論	1・2② 未開講 1-2②	2		1					通常開講 (23) 履修希望者がいなかったため (22)
			企業情報システム特論	1・2① 未開講 1-2①	2		1					通常開講 (23) 履修希望者がいなかったため (22)
			特別研究科目	鍼灸学	鍼灸学特別研究 1	1(通)	4		7			
鍼灸学特別研究 2	2(通) 未開講 2(通)	4				7					通常開講 (23) 配当年次対象学生がいないため (22)	
理学療法学	理学療法学特別研究 1	未開講 1(通)		4		4	2				履修希望者がいなかったため (23)	
	理学療法学特別研究 2	2(通) 未開講 2(通)		4		4	2				通常開講 (23) 配当年次対象学生がいないため (22)	
情報システム学	情報システム学特別研究 1	1(通)		4		4	4 -3				研究分野の充実のため、科目を追加 (23) [担当 坂尻正次(准教授) 平成23年2月 教員審査済 判定 〇 (23)]	
	情報システム学特別研究 2	2(通) 未開講 2(通)		4		4	4 -3				通常開講 (23) 研究分野の充実のため、科目を追加 (23) [担当 坂尻正次(准教授) 平成23年2月 教員審査済 判定 〇 (23)] 配当年次対象学生がいないため (22)	

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成22年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記載する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記載してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても、「(1) 授業科目表」にはその状況を反映させてください。(ただし、「(3) 未開講科目」欄には記載する必要はありません)。

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 7	科目 51	科目 0	科目 58	科目 7	科目 51	科目 0	科目 58	
				[-]	[-]	[-]	[-]	

- (注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[]内に、設置認可時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置認可時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。(ただし、未開講科目があった場合は、(1)「授業科目表」にその状況を反映させてください。)

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置認可時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{認可時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況, 経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	大学全体		
	校舎敷地	50,144 m ²	0 m ²	0 m ²	50,144 m ²			
	運動場用地	20,430 m ²	0 m ²	0 m ²	20,430 m ²			
	小 計	70,574 m ²	0 m ²	0 m ²	70,574 m ²			
	そ の 他	0 m ²	0 m ²	0 m ²	0 m ²			
	合 計	70,574 m ²	0 m ²	0 m ²	70,574 m ²			
(2) 校 舎	専 用	18,225 m ²	0 m ²	0 m ²	18,225 m ²	大学全体		
	(18,225 m ²)	(0 m ²)	(0 m ²)	(18,225 m ²)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設			
	19 室	8 室	48 室	10 室 (補助職員 1 人)	1 室 (補助職員 1 人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数				
	技術科学研究科			71 室				
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機 械・器 具 点	標 本 点	
	技術科学研究科 産業技術学専攻	37,685 [3,080] (38,614 [3,264])	560 [118] (606 [120])	0 [0] (1 [1])	2,500 (2,567)	0 ()	0 ()	
	技術科学研究科 保健科学専攻	36,240 [3,540] (36,623 [3,473])	400 [97] (386 [98])	0 [0] (1 [1])	4,215 (4,600)	0 ()	0 ()	
	計	73,925 [6,620] (75,237 [6,737])	960 [215] (992 [218])	0 [0] (1 [1])	6,715 (7,167)	0 ()	0 ()	
(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		閲覧スペースの充実及び 電動書架の増設(23) 施設・設備の充実(22)	
	1,370 1,185 m ²		84 -100 -98 席		89,200 82,106 81,806 冊			
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要					
	1,672 m ²		屋内プール(25m×5コース)		屋外プール(25m×6コース)			
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円
		共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	
学生納付金以外の維持方法の概要								

- (注) ・ 設置認可時の計画を、認可申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成23年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(23)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

4 既設大学等の状況

大学の名称	筑波技術大学							備考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入 定 員	取 容 定 員	学位又 は称号	定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地
	年	人	年次 人	人		倍		
【産業技術学部】 産業情報学科	4	35	—	140	学士(工学)	1.00	H18	(天久保キャンパス) 茨城県つくば市天久保 4-3-15
総合デザイン学科	4	15	—	60	学士(デザイン学)	1.03	H18	
【保健科学部】 保健学科	4	30	—	120	学士(鍼灸学)又は 学士(理学療法学)	0.97	H18	(春日キャンパス) 茨城県つくば市春日4- 12-7
情報システム学科	4	10	—	40	学士(工学)	1.17	H18	

- (注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が、既に設置している全ての大学の学部、学部の学科、短期大学の学科及び高等専門学校学科について、大学、短期大学又は高等専門学校ごとに、平成23年5月1日現在の状況を記入してください。
(専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。)
- ・ 認可申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。
 - ・ 「定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで(小数点第3位を切り捨て)を、学科(短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程)単位で記入してください。なお、学生募集停止を行った学科(短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程)の記載は不要です。
 - ・ 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「—」とし、「備考」に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<技術科学研究科 産業技術学専攻（修士課程）>

(1) 担当教員表

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	岡崎 彰夫	平成22年4月	情報コミュニケーション学特論 コンピュータビジョン論 情報科学特別研究1 情報科学特別研究2						
専	教授	須田 裕之	平成22年4月	情報コミュニケーション学特論 通信情報システム特論 情報科学特別研究1 情報科学特別研究2						
専	教授	田中 哲男	平成22年4月	情報コミュニケーション学特論 ソフトウェアシステム構成論						
専	教授	内藤 一郎	平成22年4月	情報コミュニケーション学特論 コミュニケーション科学特論 情報保障システム工学特論 産業技術学特別実習 情報科学特別研究1 情報科学特別研究2						
専	教授	平賀 瑠美	平成22年4月	産業技術学セミナー 情報コミュニケーション学特論 マルチメディア応用論 情報科学特別研究1 情報科学特別研究2						
専	教授	皆川 洋喜	平成22年4月	情報コミュニケーション学特論 情報保障システム工学特論 ヒューマンインタフェース特論 情報科学特別研究1 情報科学特別研究2						
専	教授	荒木 勉	平成22年4月	ヒューマンシステム工学特論 CAD/CAM特論 産業技術学特別実習 システム工学特別研究1 システム工学特別研究2						
専	教授	岡田 昌章	平成22年4月	産業技術学セミナー ヒューマンシステム工学特論 熱工学特論 システム工学特別研究1 システム工学特別研究2						
専	教授	後藤 豊	平成22年4月	ヒューマンシステム工学特論 デジタル信号処理特論 システム工学特別研究1 システム工学特別研究2						
専	教授	張 晴原	平成22年4月	ヒューマンシステム工学特論 建築環境工学特論 システム工学特別研究1 システム工学特別研究2						
専	教授	藤澤 正視	平成22年4月	ヒューマンシステム工学特論 安全工学特論 システム工学特別研究1 システム工学特別研究2						
専	教授	穂坂 重孝	平成22年4月	ヒューマンシステム工学特論 信頼性設計特論 システム工学特別研究1 システム工学特別研究2						
専	教授	渡部 安雄	平成22年4月	ヒューマンシステム工学特論 流体工学特論 システム工学特別研究1 システム工学特別研究2						

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	金田 博	平成22年4月	ユニバーサルデザイン特論 共生ユーザビリティ特論 デザイン・エコノミクス特論 産業技術学特別実習 総合デザイン学特別研究1 総合デザイン学特別研究2						
専	教授	長島 一道	平成22年4月	ユニバーサルデザイン特論 高齢者地域共生環境特論 総合デザイン学特別研究1 総合デザイン学特別研究2						
専	教授	生田目 美紀	平成22年4月	産業技術学セミナー ユニバーサルデザイン特論 感性情報デザイン特論 総合デザイン学特別研究1 総合デザイン学特別研究2						
専	教授	平根 孝光	平成22年4月	ユニバーサルデザイン特論 障害者支援施設設計特論 総合デザイン学特別研究1 総合デザイン学特別研究2						
専	准教授	新井 孝昭	平成22年4月	情報コミュニケーション学特論 コミュニケーション環境論						
専	准教授	井上 正之	平成22年4月	情報コミュニケーション学特論 通信ネットワーク特論 情報科学特別研究1 情報科学特別研究2						
専	准教授	大塚 和彦	平成22年4月	情報コミュニケーション学特論 通信情報システム特論						
専	准教授	河野 純大	平成22年4月	情報コミュニケーション学特論 コミュニケーション科学特論 情報保障システム工学特論 情報科学特別研究1 情報科学特別研究2						
専	准教授	加藤(田中) 伸子	平成22年4月	産業技術学セミナー 情報コミュニケーション学特論 情報保障システム工学特論 ヒューマンインタフェース特論 情報科学特別研究1 情報科学特別研究2						
専	准教授	西岡 知之	平成22年4月	情報コミュニケーション学特論 ソフトウェアシステム構成論 情報保障システム工学特論 情報科学特別研究1 情報科学特別研究2						
専	准教授	村上 裕史	平成22年4月	情報コミュニケーション学特論 情報保障システム工学特論 ビジュアル・コンピューティング 特論						
専	准教授	浅草 肇	平成22年4月	ヒューマンシステム工学特論 線形・非線形材料 構成材塑性設計特論						
専	准教授	稲葉 基	平成22年4月	ヒューマンシステム工学特論 アナログ集積回路特論 システム工学特別研究1 システム工学特別研究2						
専	准教授	今井 計	平成22年4月	ヒューマンシステム工学特論 光環境工学特論						
専	准教授	黒木 速人	平成22年4月	ヒューマンシステム工学特論 生体工学特論 システム工学特別研究1 システム工学特別研究2						

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	准教授	谷 貴幸	平成22年4月	産業技術学セミナー ヒューマンシステム工学特論 情報駆動生産工学 システム工学特別研究1 システム工学特別研究2						
専	准教授	井上 征矢	平成22年4月	産業技術学セミナー ユニバーサルデザイン特論 色彩学特論 総合デザイン学特別研究1 総合デザイン学特別研究2						
専	准教授	児玉 信正	平成22年4月	ユニバーサルデザイン特論 生産造形創造特論 デザイン・エコノミクス特論						
専	准教授	櫻庭(古谷) 晶子	平成22年4月	ユニバーサルデザイン特論 造園計画特論 総合デザイン学特別研究1 総合デザイン学特別研究2						
専	准教授	本間 巖	平成22年4月	ユニバーサルデザイン特論 デザイン・エコノミクス特論 デジタルモテリング特論						
専	准教授	山脇 博紀	平成22年4月	ユニバーサルデザイン特論 環境行動学特論 総合デザイン学特別研究1 総合デザイン学特別研究2						
専	准教授	劉 賢国	平成22年4月	ユニバーサルデザイン特論 共生コミュニケーション特論 総合デザイン学特別研究1 総合デザイン学特別研究2	専	教授	劉 賢国 (48)	平成22年4月	ユニバーサルデザイン特論 共生コミュニケーション特論 総合デザイン学特別研究1 総合デザイン学特別研究2	22年2月教員審査済 (昇格のため) (22)
専	講師	田中 晃	平成22年4月	軽量構造特論						
専	講師	米山 文雄	平成22年4月	ヒューマンシステム工学特論 聴覚障害福祉工学						
専	講師	鈴木 拓弥	平成22年4月	ユニバーサルデザイン特論 デザイン方法特論						
専	助教	若月 大輔	平成22年4月	情報コミュニケーション学特論 情報保障システム工学特論 3Dグラフィックス特論	専	准教授	若月 大輔 (35)	平成23年4月	情報コミュニケーション学特論 情報保障システム工学特論 3Dグラフィックス特論 情報科学特別研究1 情報科学特別研究2	23年2月教員審査済 (昇格のため) (23)
専	助教	後藤 啓光	平成22年4月	ヒューマンシステム工学特論 創造設計学特論						

- (注) ・認可申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
- なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈〇〇学部 △△学科〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
- ・後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 - ・辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 - ・年齢は、「認可時の計画」には開設時現在の満年齢(科目就任時の満年齢ではありません)を、「変更状況」には平成23年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 - ・教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 - また、「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出し、教員判定の結果が出ていない場合は「〇年〇月変更書提出済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 - なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。
 - ・専任教員を変更する場合は、当該専門教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。

(2) 専任教員数

認可時の計画				変更状況				備考
研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	
24	3	27	0	25	3	28	0	
(24)	(3)	(27)	(0)	[1]	[-]	[1]	[-]	

(注) ・「認可時の計画」には、設置認可時に予定されていた完成時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成22年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[] 内に設置認可時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：△1)

(3) 専任教員辞任等の理由

番号	職位	専任教員氏名	辞任(就任辞退を含む)等の理由
1			
2			
3			

(注) ・設置認可時の計画からの専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

(注) ・上記(3)の教員の辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

<技術科学研究科 保健科学専攻（修士課程）>

(1) 担当教員表

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	一幡 良利	平成22年4月	衛生学特論（微生物感染症学・消毒論） 鍼灸学特別研究1 鍼灸学特別研究2						
専	教授	大越 教夫	平成22年4月	保健科学セミナー 臨床医学特論B（神経内科学） 鍼灸学特別研究1 鍼灸学特別研究2						
専	教授	緒方 昭広	平成22年4月	手技療法学特論 鍼灸手技療法研究技術論 臨床鍼灸手技療法学特論B（現代鍼灸手技療法学） 臨床鍼灸手技療法学演習B（現代鍼灸手技療法学） 総合臨床鍼灸学・演習1E（疼痛系疾患臨床） 総合臨床鍼灸学・演習2E（疼痛系疾患臨床） 鍼灸学特別研究1 鍼灸学特別研究2						
専	教授	形井 秀一	平成22年4月	鍼灸学特論 臨床鍼灸手技療法学特論A（古典鍼灸手技学・文献学） 臨床鍼灸手技療法学演習A（古典鍼灸手技学・文献学） 総合臨床鍼灸学・演習1A（古典医学的臨床） 総合臨床鍼灸学・演習2A（古典医学的臨床） 鍼灸学特別研究1 鍼灸学特別研究2						
専	教授	坂本 裕和	平成22年4月	解剖学特論（機能解剖学）						
専	教授	津嘉山 洋	平成22年4月	鍼灸学特論 鍼灸手技療法研究技術論 臨床鍼灸手技療法学特論A（古典鍼灸手技学・文献学） 臨床鍼灸手技療法学演習A（古典鍼灸手技学・文献学）						
専	教授	野口 栄太郎	平成22年4月	保健科学セミナー 手技療法学特論 鍼灸手技療法研究技術論 臨床鍼灸手技療法学特論B（現代鍼灸手技療法学） 臨床鍼灸手技療法学演習B（現代鍼灸手技療法学） 総合臨床鍼灸学・演習1C（老年系疾患臨床） 総合臨床鍼灸学・演習2C（老年系疾患臨床） 鍼灸学特別研究1 鍼灸学特別研究2						
専	教授	森 英俊	平成22年4月	手技療法学特論 鍼灸学特論 鍼灸手技療法研究技術論 総合臨床鍼灸学・演習1D（自律機能系疾患臨床） 総合臨床鍼灸学・演習2D（自律機能系疾患臨床） 鍼灸学特別研究1 鍼灸学特別研究2						

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	森山 朝正	平成22年4月	手技療法学特論 鍼灸学特論 臨床鍼灸手技療法学特論B (現代鍼灸手技療法学) 臨床鍼灸手技療法学演習B (現代鍼灸手技療法学) 総合臨床鍼灸学・演習1B (ｽﾎｰﾌﾞ系疾患臨床) 総合臨床鍼灸学・演習2B (ｽﾎｰﾌﾞ系疾患臨床) 鍼灸学特別研究1 鍼灸学特別研究2						
専	教授	薄葉 真理子	平成22年4月	物理療法学特論・演習 理学療法学特別研究1 理学療法学特別研究2						
専	教授	木下 裕光	平成22年4月	保健科学セミナー 臨床医学特論C(整形外科学) ｽﾎｰﾌﾞﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼﾞｮﾝ特論・演習 理学療法学特別研究1 理学療法学特別研究2						
専	教授	柴崎 正修	平成22年4月	臨床医学特論A(小児科学) 理学療法学特別研究1 理学療法学特別研究2						
専	教授	高橋 憲一	平成22年4月	専門理学療法評価学特論・演習 理学療法学特別研究1 理学療法学特別研究2						
専	教授	高橋 洋	平成22年4月	徒手理学療法学特論・演習 ｽﾎｰﾌﾞﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼﾞｮﾝ特論・演習						
専	教授	小野 東	平成22年4月	システム設計特論 システム設計特論演習 情報システム学特別研究1 情報システム学特別研究2						
専	教授	隈 正雄	平成22年4月	情報工学・感覚工学特論 企業情報システム特論 情報システム学特別研究1 情報システム学特別研究2						
専	教授	佐々木 信之	平成22年4月	デジタル信号処理特論 デジタル信号処理特論演習 情報システム学特別研究1 情報システム学特別研究2						
専	教授	関田 巖	平成22年4月	情報工学・感覚工学特論 情報構造論特論						
専	教授	巽 久行	平成22年4月	保健科学セミナー 情報論理特論 知能システム特論 情報システム学特別研究1 情報システム学特別研究2						
専	教授	三宅 輝久	平成22年4月	情報工学・感覚工学特論 データベース特論 情報検索システム特論						
専	准教授	大沢 秀雄	平成22年4月	生理学特論(運動生理学・自律神経生理学) 理学療法学特別研究1 理学療法学特別研究2						
専	准教授	小林 和彦	平成22年4月	保健科学セミナー 行動学的理学療法学特論 理学療法学特別研究1 理学療法学特別研究2						
専	准教授	大西 淳児	平成22年4月	障害補償技術特論 障害補償ソフトウェア工学特論 情報システム学特別研究1 情報システム学特別研究2						

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	准教授	岡本 健	平成22年4月	保健科学セミナー 情報セキュリティ特論 情報システム学特別研究1 情報システム学特別研究2						
専	准教授	河原 正治	平成22年4月	情報工学・感覚工学特論 コンピュータネットワーク特論 インターネット技術応用特論						
専	准教授	小林 真	平成22年4月	障害補償機器特論 情報工学・感覚工学特論 情報システム学特別研究1 情報システム学特別研究2						
専	准教授	坂尻 正次	平成22年4月	障害補償機器特論 障害補償技術特論 情報工学・感覚工学特論	専	准教授	坂尻 正次 (44)	平成23年4月	障害補償機器特論 障害補償技術特論 情報工学・感覚工学特論 情報システム学特別研究1 情報システム学特別研究2	23年2月教員審査済 (科目追加) (23)
専	助教	殿山 希	平成22年4月	手技療法学特論 鍼灸学特論 臨床鍼灸手技療法学特論B (現代鍼灸手技療法学) 臨床鍼灸手技療法学演習B (現代鍼灸手技療法学)						
専	助教	福永 克己	平成22年4月	視覚情報処理特論 情報工学・感覚工学特論						
兼任	教授	平山 暁	平成22年4月	臨床医学特論E(内科学)						
兼任	講師	吉田 次男	平成22年4月	臨床医学特論D (放射線医学)						
兼任	講師	齋藤 信夫	平成22年4月	応用運動学特論						
兼任	講師	堀本 佳誉	平成22年4月	小児理学療法特論						
兼任	講師	早川 康之	平成22年4月	福祉用具・生活環境支援特論						

(注) ・認可申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。

なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈〇〇学部 △△学科〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。

・後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。

・辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。

・年齢は、「認可時の計画」には開設時現在の満年齢(科目就任時の満年齢ではありません)を、「変更状況」には平成23年5月1日現在の満年齢を記入してください。

・教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。

また、「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出し、教員判定の結果が出ていない場合は「〇年〇月変更書提出済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。

なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。

・専任教員を変更する場合は、当該専門教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。

(2) 専任教員数

認 可 時 の 計 画				変 更 状 況				備 考
研究指導教員	研究指導補助教員	計	助 手	研究指導教員	研究指導補助教員	計	助 手	
20	0	20	0	21	0	21	0	
(20)	(0)	(20)	(0)	[1]	[-]	[1]	[-]	

(注) ・「認可時の計画」には、設置認可時に予定されていた完成時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成22年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[]内に設置認可時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：△1)

(3) 専任教員辞任等の理由

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任(就任辞退を含む)等の理由
1			
2			
3			

(注) ・設置認可時の計画からの専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

(注) ・上記(3)の教員の辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
認 可 時 (21年10月)	1. 設置の趣旨・目的が活かされるよう、設置計画を確実に履行すること。また、学術の理論及び応用を教授研究するという大学院の目的に照らし、開設時から充実した教育研究活動を行うことはもとより、その水準を一層向上させるよう努めること。 2. 教育研究環境を一層向上させるため、電子ジャーナルの充実に努めること。	平成21年11月に大学院技術科学研究科準備委員会を設置し、開設時から設置計画に即した教育・研究活動が遂行できるよう関係規程や設備の整備など更に準備を進めた。 平成22年4月からは大学院技術科学研究科運営委員会を設置し、教育研究活動の向上に係る検討を進めている。 電子ジャーナルの充実に向けて検討を開始している。	
設置計画履行状況 調 査 時 (22年5月)	1. 設置の趣旨・目的が活かされるよう、設置計画を確実に履行すること。また、学術の理論及び応用を教授研究するという大学院の目的に照らし、開設時から充実した教育研究活動を行うことはもとより、その水準を一層向上させるよう努めること。 2. 教育研究環境を一層向上させるため、電子ジャーナルの充実に努めること。	大学院技術科学研究科運営委員会が中心となり、教育研究活動の向上に向けて関係規程及び設備等の整備を進めている。 電子ジャーナルの充実に向けて検討を進めている。	
設置計画履行状況 実 地 調 査 時 (22年10月)	1. 設置の趣旨・目的が活かされるよう、設置計画を確実に履行すること。また、学術の理論及び応用を教授研究するという大学院の目的に照らし、開設時から充実した教育研究活動を行うことはもとより、その水準を一層向上させるよう努めること。 2. 教育研究環境を一層向上させるため、電子ジャーナルの充実に努めること。	教育研究活動の更なる向上を図るため、各コースごとに研究発表会等を定期的実施している。 電子ジャーナル(1,933タイトル)を導入し、教育研究環境を充実させた。	
設置計画履行状況 調 査 時 (23年5月)	該当なし	該当なし	

- (注) ・ 「認可時」には、当該大学等の設置認可時に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、毎年度、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、毎年度、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料を添付してください。
 - ・ 入学定員超過に係る留意事項への履行状況については、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

7 その他全般的事項

(1) 設置計画変更事項等

認可時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

- (注) ・ 1～6の項目により記入した事項以外で、設置認可時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 認可申請書の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 大学院技術科学研究科運営委員会 FD・SD企画室</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） 大学院技術科学研究科運営委員会 （平成22年度は4回開催。平成23年度は第1回会議を5月に開催予定） FD・SD企画室室員会議 （第1回会議（H22.6.9開催）10名中1名欠席、H23.3開催予定であった第2回会議は、東日本大震災のため中止。平成23年度は第1回会議を5月に開催予定。）</p> <p>c 委員会の審議事項等 大学院技術科学研究科運営委員会 (1) 大学院の組織及び管理運営に関する事項 (2) 大学院の教育課程及び研究指導に関する事項 (3) 学生の入学、退学、転学、留学、休学及び修了に関する事項 (4) 研究指導担当及び授業担当の認定に関する事項 (5) その他大学院の教育研究に関すること。 FD・SD企画室会議 (1) 全学のFD（Faculty Development:教育改善のための教員研修）・SD（Staff Development:事務系職員の資質向上のための研修）の企画立案及び実施に関する事項 (2) FD・SDの在り方に関する事項 (3) その他本学におけるFD・SDに関する事項</p>
<p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容 FD講演会等の実施</p> <p>b 実施方法 FD・SD企画室において、企画立案し、講演会等を実施している。（学部と共通）</p> <p>c 開催状況（教員の参加状況含む） ○ 平成22年度は、3回の講演会を実施し、教員の参加状況は下記のとおりである。 （第1回（H22.5.12）参加者：67名、第2回（H22.10.22）参加者：46名、第3回（H23.3.10）参加者：47名） ○ 平成23年度も年3回の講演会を実施しており、第1回目は6月に予定している。</p> <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 FD講演会については、学部と共通のテーマだけでなく大学院向けのテーマを設定し、授業改善の方策を検討する。</p>

- (注) ・ 「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

○ 国立大学法人筑波技術大学大学院技術科学研究科大学院運営委員会規程

〔平成22年2月26日〕
〔規程第10号〕

国立大学法人筑波技術大学大学院技術科学研究科大学院運営委員会規程

(趣旨)

第1条 この規程は、国立大学法人筑波技術大学組織及び管理運営に関する規則（平成17年規則第1号）第22条第2項の規定に基づき、大学院技術科学研究科大学院運営委員会（以下「大学院運営委員会」という。）に関し必要な事項を定めるものとする。

(審議事項)

第2条 大学院運営委員会は、大学院に関し、次の事項について審議する。

- (1) 大学院の組織及び管理運営に関する事項
- (2) 大学院の教育課程及び研究指導に関する事項
- (3) 学生の入学、退学、転学、留学、休学及び修了に関する事項
- (4) 研究指導担当及び授業担当の認定に関する事項
- (5) その他大学院の教育研究に関すること。

(組織)

第3条 大学院運営委員会は、次の各号に掲げる委員をもって組織する。

- (1) 学長
- (2) 研究科長
- (3) 産業技術学専攻長
- (4) 保健科学専攻長
- (5) 各専攻のコース長
- (6) その他学長が指名する者 若干人

(任期)

第4条 前条第6号の委員の任期は、2年とし、再任を妨げない。

2 前項の規定にかかわらず、任期の終期は、委員となる日の属する年度の翌年度の末日とする。

3 欠員を生じた場合の補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長及び副委員長)

第5条 大学院運営委員会に委員長及び副委員長を置く。

2 委員長は、学長をもって充て、副委員長は研究科長をもって充てる。

3 委員長は、大学院運営委員会を招集し、その議長となる。

4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるときは、その職務を代行する。

(定足数)

第6条 大学院運営委員会は、委員の過半数が出席しなければ、議事を開くことができない。

2 大学院運営委員会の議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(構成員以外の出席)

第7条 議長は、必要と認めるときは、関係の職員を大学院運営委員会に出席させ意見を聴く

ことができる。

(事務)

第8条 大学院運営委員会に関する事務は、聴覚障害系支援課において処理する。

(その他)

第9条 この規程に定めるもののほか、大学院運営委員会に関し必要な事項は、大学院運営委員会の議を経て、学長が別に定める。

附 則

この規程は、平成22年4月1日から施行する。

○国立大学法人筑波技術大学FD・SD企画室規程

〔平成19年4月27日〕
規程第11号

国立大学法人筑波技術大学FD・SD企画室規程

(趣旨)

第1条 この規程は、国立大学法人筑波技術大学組織及び管理運営に関する規則（平成17年規則第1号）第12条第1項の規定に基づき、FD・SD企画室（以下「企画室」という。）に関し必要な事項を定めるものとする。

(企画検討事項)

第2条 企画室において、次に掲げる事項を企画検討する。

- (1) 全学のFD(Faculty Development:教育改善のための教員研修)・SD(Staff Development:事務系職員の資質向上のための研修)の企画立案及び実施に関する事項
- (2) FD・SDの在り方に関する事項
- (3) その他本学におけるFD・SDに関する事項

(組織)

第3条 企画室に室員を置き、次に掲げる者で組織する。

- (1) 産業技術学部から推薦された者 2人
- (2) 保健科学部から推薦された者 2人
- (3) 障害者高等教育研究支援センターから推薦された者 2人
- (4) 事務局から推薦された者 2人
- (5) その他学長が指名する者 若干人

2 前項に規定する室員のほか、学外の有識者・専門家をアドバイザーとして委嘱することができる。

第4条 前条の室員の任期は、2年とし、再任を妨げない。

2 前項の規定にかかわらず、任期の終期は、室員となる日の属する年度の翌年度の末日とする。

3 欠員を生じた場合の補欠の室員の任期は、前任者の残任期間とする。

(室長及び副室長)

第5条 企画室に室長及び副室長を置く。

2 室長は室員のうちから学長が指名し、副室長は、室員のうちから室長が指名する。

3 室長は、企画室の業務を総括する。

4 副室長は、室長を補佐し、室長に事故あるときは、その職務を代行する。

(意見の聴取)

第6条 室長は、必要があると認めるときは、室員以外の者の出席を求め、その意見を聴くことができる。

(報告)

第7条 室長は、必要に応じ企画室の検討状況を学長に報告するものとする。

(事務)

第8条 企画室に関する事務は、総務課及び聴覚障害系支援課において処理する。

(その他)

第9条 この規程に定めるもののほか、企画室の運営に関し必要な事項は、企画室が別に定める。

附 則

この規程は、平成19年5月1日から施行する。

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

筑波技術大学大学院技術科学研究科は、聴覚・視覚障害者のための大学院として、障害がありながらも産業技術や医療技術に関するより高度で専門的な知識・技術、応用能力、研究能力を備え、企業や医療現場などの要請に積極的に応え貢献できる専門技術者・研究者・指導者を養成するとともに、地域社会や職場において聴覚・視覚障害者のリーダーとして活躍できる人材を育成することを目的としている。

この目的を達成するために平成22年4月に7名（入学定員：7名）、平成23年4月に6名（入学定員：7名）の入学を受け入れた。しかし、産業技術学専攻の入学生が、平成22年度に引き続き、平成23年度も3名と入学定員の4名に満たなかったことから、今後さらに早い段階での本学学部在籍学生へのガイダンスや学生募集に係る広報等が必要である。

なお、具体的な達成状況については、今後、評価室において、自己点検・評価を行い、評価結果を広く社会に公表する予定である。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・平成24年3月 公表予定

b 公表方法

- ・大学ホームページ上に公開予定

③ 認証評価を受ける計画

- ・平成23年度に認証評価機関（大学評価・学位授与機構）の評価を受審予定

(注) ・ 設置認可時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報提供に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

- a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)
- b 公表時期 (未公表の場合は予定時期) (平成 23 年 6 月 1 日)
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置計画履行状況報告書」掲載ページへのリンク
(承諾する ・ 承諾しない)
- d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス
(http://www.tsukuba-tech.ac.jp/introduction/openinfo/educational_info.html)

(注) ・ 「c」において「承諾する」場合、文部科学省のホームページにてリンク先を掲載しますので、大学等のトップページではなく直接リンクする先を「d」に記入してください。
なお、「d」のリンク先のアドレスが未定の場合は、決まり次第、文部科学省高等教育局大学設置室あてに、メールにてご報告ください。

※大学設置室メールアドレス：d-secchi@mext.go.jp

件名は「【調査係あて】AC報告書等HPリンク先(〇〇大学)」としてください。